

福井コンピュータホールディングス株式会社

2023年3月期第1四半期 決算説明資料

連結業績の概要



(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前期 (通期)
売上高	3,187	3,165	△22	△0.7%	14,331
営業費用	1,885	2,056	+171	+9.1%	8,016
営業利益	1,302	1,108	△194	△14.9%	6,314
営業外損益	7	17	+10	+137.4%	43
経常利益	1,310	1,126	△183	△14.0%	6,358
特別損益	—	—	—	—	—
法人税等	436	366	△70	△16.0%	2,135
四半期純利益	873	759	△113	△13.0%	4,222

▶ 売上高、各利益は前年同期比減少

売上高の内訳



(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
ソフトウェア	1,733	1,631	△101	△5.9%
保守サービス	1,276	1,371	+94	+7.4%
商品	163	159	△4	△2.5%
選挙関連	30	18	△12	△39.6%
売上値引(△)	15	15	△0	△3.6%
合計	3,187	3,165	△22	△0.7%

- ソフトウェアの売上は、IT導入補助金のデジタル化基盤導入類型枠追加による採択率の低下により前年同期比減少
- 保守サービスの売上は前年同期比増加
- 選挙関連の売上は、案件数が減少し、前年同期比減少

3

営業費用の内訳



(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
人件費	1,335	1,340	+5	+0.4%
商品売上原価	124	116	△8	△6.9%
賃借料	92	91	△0	△1.0%
旅費交通費	30	41	+11	+37.8%
減価償却費	45	52	+7	+15.5%
ロイヤリティ	39	40	+0	+2.2%
外注費	23	15	△8	△36.5%
その他費用	193	358	+165	+85.5%
合計	1,885	2,056	+171	+9.1%

- 新型コロナウイルス感染症の影響により活動制限をしていた営業活動を徐々に再開したことにより、旅費及び展示会費が増加

4



(単位:百万円)

	建築システム	測量土木システム	ITソリューション	調整額	合計
売上高	1,422	1,698	44	—	3,165
営業利益	467	774	△25	△107	1,108

(参考:前年同四半期)

(単位:百万円)

	建築システム	測量土木システム	ITソリューション	調整額	合計
売上高	1,449	1,682	56	—	3,187
営業利益	487	788	1	25	1,302

- 測量土木システム事業は増収減益
- 建築システム事業、ITソリューション事業は、減収減益

建築システム事業

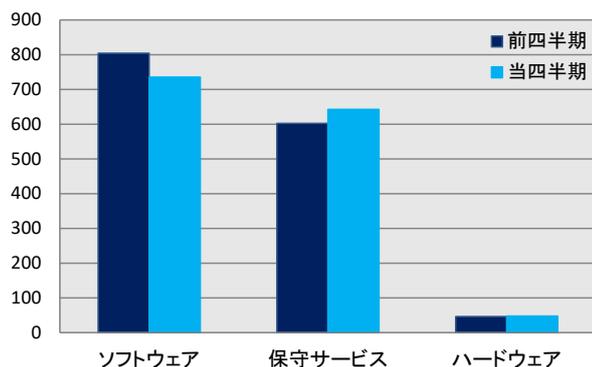


(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,449	1,422	△26	△1.8%
営業利益	487	467	△19	△4.0%

(単位:百万円)

売上高内訳



- ソフトウェアは、IT導入補助金のデジタル化基盤導入類型枠追加による採択率の低下により減収
- 保守サービスは加入件数が増加

測量土木システム事業

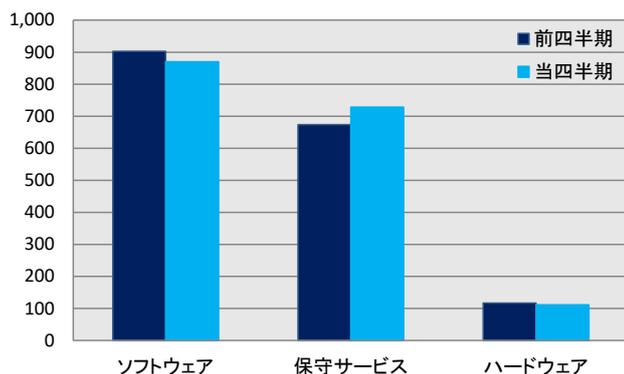


(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,682	1,698	+15	+0.9%
営業利益	788	774	△14	△1.8%

(単位:百万円)

売上高内訳



▶ソフトウェアは、IT導入補助金のデジタル化基盤導入類型枠追加により採択率が低下したものの、「i-Construction」の普及により点群処理ソフトを主な製品とする建設インフラ事業の売上が好調に推移し、売上増加に寄与

▶保守サービスは、加入件数が増加

7

ITソリューション事業



(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	56	44	△11	△21.3%
営業利益	1	△25	△27	—

- ▶選挙関連においては、前年同期比較で案件数の減少により減収
- ▶建設関連のクラウドビジネスにおいては、業績は横這いにて推移

8



(単位:百万円)

セグメント	前第1四半期	当第1四半期	増減率
住宅事業	1,183	1,096	△7%
建材事業	127	154	+21%
BIM事業	94	127	+35%
建築システム事業一計	1,449 <small>※その他、45百万円を含む</small>	1,422 <small>※その他、45百万円を含む</small>	△1.8%
測量事業	783	745	△5%
土木事業	404	389	△4%
建設インフラ事業	451	508	+13%
測量土木システム事業一計	1,682 <small>※その他、44百万円を含む</small>	1,698 <small>※その他、56百万円を含む</small>	+0.9%
ITソリューション事業	56	44	△21%
合計	3,187	3,165	△0.7%

- ▶住宅事業にて、住宅性能表示制度による省エネ上位等級の対応を4月に実施
- ▶第2四半期では、主力製品の機能強化やバージョンアップを計画

貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	前第1四半期末	当第1四半期末	増減額
現金及び預金	13,252	15,756	+2,503
受取手形及び売掛金	1,765	1,762	△2
その他流動資産	1,014	1,700	+685
有形固定資産	2,419	2,350	△68
無形固定資産	193	241	+48
投資その他の資産	2,064	1,910	△154
資産合計	20,711	23,722	+3,011
前受金	2,270	2,463	+193
その他流動負債	2,526	2,688	+161
固定負債	195	104	△90
資本金、資本剰余金	3,131	3,131	—
利益剰余金	12,057	14,926	+2,868
有価証券評価差額金その他	528	407	△121
負債純資産合計	20,711	23,722	+3,011
自己資本比率	75.9%	77.8%	



	前期(実績)	当期(予想)	増減率
売上高	14,331	14,580	+1.7%
営業利益	6,314	6,400	+1.3%
経常利益	6,358	6,440	+1.3%
当期純利益	4,222	4,240	+0.4%
1株当たり当期純利益	204円24銭	205円08銭	
1株当たり配当金	60円	60円	

2023年3月期は、建築システム事業では、住宅事業における既存パッケージソフトウェアの基本機能のバージョンアップ、またBIM事業における施工フェーズへのソリューション提供により売上増加を図りながら、ストックビジネスの拡大にも取り組んでまいります。また、測量土木システム事業では、国土交通省が推進する「i-Construction」、新型コロナウイルス感染症対策の一環でもあるCIM化を成長のチャンスととらえ、測量・土木・建設インフラの各セグメントにおけるブランドの確立・深堀により、継続取引社数の拡大に向け取り組んでまいります。

業績予想としましては、売上高14,580百万円、営業利益6,400百万円、経常利益6,440百万円、当期純利益4,240百万円を見込んでおります。